

# 子ども・地域・学校・親の つながりを深めるPTAへ

松枝小学校PTAでは、「うちの子、よその子、松枝の子、みんなで育てよう」というスローガンの下で、地域全体で子どもたちを育てていく様々な活動をすすめています。

★「ふれあいタイム」  
松枝校区および近隣にお住まいで、いろいろな物事を教えていただけるかたが講師となり、クラブ活動を支援していただいています。そのクラブ活動の発表の場として、また、親子でクラブ活動を体験できる場として、「ふれあいタイム」を秋に実施しています。

## かさまつの子

笠松町道徳教育連絡会議



今年度は、二十講座のうち、二つを受講する七九コースを設定。六二〇人の子どもに、親を加え、総勢約千百人が、秋の土曜日の午前中に、地域の講師のかたから、いろいろな知識、技能、知恵、生き方を学びました。

★「ふれあいサポーター」「ふれあい隊」  
登下校時の子どもたちや授業時間中の校内の安全を見守ってくださいとしている松枝地域の皆さんがいらっしやいます。

これらのかたがたが毎日見守っていたただけるため、子どもた



ちも安心して学校生活を送ることができています。

また、地域の人びとと、顔と名前がわかる関係づくりができている、何かあれば、松枝校区全体で対応できる環境が少しずつ整い始めています。

その他、「資源回収」など、様々な活動を、地域の皆さんのご協力により実施しています。

これらの活動を通じて、子どもたちが、地域を愛し、人とのふれあいを大切にしよう、心の優しい人に育ってほしい、心願して願っています。

松枝小学校PTA

会長 道家睦明

教育委員会  
だより

## 今時の金銭教育を考える

【お金の値打ちを教える】

子どもが小さい時から、お金は価値ある労働の対価として得られるものだということを教えるべきです。

今は、昔のように親が汗して働く姿を直接見る機会はありません。子ども自身も労働の大変さを体験する機会も減っています。

また、働く親のために、家族の一員としてどんな協力をすればいいのか、幼い頃から話し合うことも少ないように思えます。子どもがお金を単なる物として見してしまうのではないようにしなければなりません。

【我が家の経済状況を話題に】

我が家の収入は〇〇円で、月々のローン返済が〇〇円で、などということ子どもにも話すのは忍びないと思うかたが多いでしょう。しかし、小学校中学年を過ぎるころから家庭の経済状況を子どもと共有することは、子どもの成長にとって大きな意味があるという説もある。

【賢い消費者を育てる】  
家計簿もパソコンでつける時代です。高校の家庭科でも、家計簿の記入に関する実習を省いた教科書が多いようです。

今日的な指導内容としては、カードによる買い物、キャッシング、インターネットや携帯電話の無節操な使用等があります。安くて良い物を選ぶこと、多くの願いの中から真に値打ちのあることを選択してお金を使うこと、リサイクルや省エネも子どもたちに身に付けさせたい大切な生活態度です。

さて、こうしてみてもと金銭教育は「生き方の教育」なのだということに気がきます。

案外、我が子のお年玉の遣い方には家族の生き方が投影されているのかもしれない。